

**■ 教育目的**

海外（カナダ、英国、タイなど）の医療に関わる薬剤師の業務と責任を理解し、国際化した社会状況に対応できる薬剤師になるため、国内での実習では得ることが出来ない知識、技能、態度を、海外での実習を通して習得する。【卒業認定・学位授与：YD-⑤、YD-⑥】

**■ 学習到達目標**

1. 日本の医療制度、薬剤師教育、薬剤師の役割を英語で説明できる。
2. 海外の医療制度並びに薬剤師教育を理解する。
3. 海外の薬局並びに病院薬剤師の業務と責任を理解する。
4. 海外の薬学生と交流することで、医療人としての共通意識を深める。
5. 英語によるコミュニケーション力を高める。

**■ 準備学習（予習・復習）**

予習：日本の医療制度・薬剤師の役割を英語で説明出来るよう準備しておく。

復習：実習内容をプレゼンテーションできるよう、研修期間中に記録しておく。帰国後、英語検定を（TOEIC）受ける。

**■ 授業内容**

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	事前学習・演習	医療英語、海外の医療制度、薬剤師教育の事前学習・調査	
2～14	実 習	受入大学（カナダ・アルバータ大学薬学部、イギリス・ハートフォードシャー大学薬学部、タイ・チュラーロンコーン大学薬学部、タイ・マヒドン大学薬学部）によるオリエンテーションを受けた後に、学内講義やワークショップに参加、地域薬局、病院薬剤部の見学や実務体験、コースワークのプレゼンテーションなどを行う。	
15	事後学習	各自、実習報告書を作成し提出する。また、その内容をグループで報告する。更に、英語能力を確認するために英語検定（TOEIC）を受験する。	

**■ 授業分担者**

赤沢 学（責任者）、石橋 賢一、庄野 あい子、樋口 和宏、越前 宏俊（アドバイザー）、学外講師

**■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法**

事前演習および研修中の出席（30％）、レポート提出・報告会（20％）、英語検定の成績（50％）を総合的に判断し評価する。

**■ 教科書**

特に指定なし。

**■ 参考書**

A Writer's Reference (英語), Bedford; 8th ed. 2016 版

**■ その他**

コースを履修するために必要とされる最低限の語学（英語）能力は、事前に各自が TOEFL を受験し、基準点（毎年公示）に達していることが望ましい。

海外研修のためにトビタテ留学 JAPAN などの奨学金申請を希望する学生には学生支援課でサポートを行うので、希望者は相談すること。